

①

法曹コース
～概要と登録方法～

東北大学法学部

1
東北大学法学部・法曹コースについて説明します。

② **東北大学法学部 法曹コースとは**

東北大学
法学部

法曹コース

連携協定



東北大学
法科大学院

既修者コース

法学部早期卒業&法科大学院特別選抜を
組み合わせて
5年一貫教育を提供

2
東北大学法学部の法曹コースとは、東北大学法学部と東北大学法科大学院との連携協定で設置されたコースです。
法科大学院の既修者コースに接続する体系的な教育課程で、法学部の早期卒業制度および法科大学院入試の特別選抜と組み合わせて、いわゆる3+2と呼ばれる5年一貫教育を提供します。

③ **法曹コースと法曹志望コース**

法曹コース

- ・2019年4月以降入学生が対象
- ・「法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律」とそれに基づく法曹養成連携協定によって開設

法曹志望コース

- ・2018年度以前入学生が対象
- ・法律や協定によるものではない
(学部が任意に設けたコース)

3
法曹コースは、「法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律」と、それに基づいて東北大学法学部と東北大学法科大学院が締結した法曹養成連携協定によって開設されたものであり、2019年4月以降に入学した学生を対象としています。
2018年度以前に入学した学生は、法曹コースへの登録をすることができず、法科大学院入試における特別選抜も受験することができません。

東北大学法学部では、法曹コースの対象とならない学生のために、法曹志望コースという名称の履修コースを設けています。

④ 法曹コース登録者ができること			
	法曹コース 登録者	法曹志望コース 登録者	法学部生一般
法科大学院 特別選抜	○受験資格あり (入学はコース修了が必要)	×受験資格なし	×受験資格なし
法科大学院 一般選抜	○受験資格あり	○受験資格あり	○受験資格あり
法学部 早期卒業	○可能	○可能	○可能
法科大学院での 履修免除	○制度あり	×制度なし	×制度なし
法科大学院科目 特別聴講	○聴講可	×聴講不可	×聴講不可
実務演習登録 の優先権	○優先権あり	○優先権あり	×優先権なし
登録者向け イベント	○参加可能	○参加可能	△一部参加可能 (コース登録者優先)

4

法曹コースに登録すると、どのようなことができるのかを整理しましょう。あわせて、法曹志望コースに登録した学生ができること、これらのコースに登録していない一般学生ができることについても整理しておきます。

法曹コース登録者は、2021年以降に実施される法科大学院入試の特別選抜を受験することができます。この受験資格は、法曹志望コース登録者

や一般学生には与えられないものです。ただし、法科大学院入試の一般選抜は、法曹コース登録者だけでなく、法曹志望コース登録者や一般学生も受験が可能です。また、早期卒業制度も、コース登録の有無にかかわらず、法学部の一般学生が利用できます。ただし、法曹コース登録者および法曹志望コース登録者は、早期卒業の成績要件について、一般学生と異なる特別の基準を利用することができます。

法曹コースは、法科大学院との一貫した教育課程として設けられることから、そこで修得した一部の科目について、東北大学法科大学院に進学後に履修免除を受けることができます。また、東北大学法科大学院が開講する科目の一部を特別聴講生として受講することができます。特別聴講生として受講した科目は、学部における単位は認定されませんが、東北大学法科大学院に進学後に、法科大学院における単位として認定されます。

また、法学部の実務演習の授業の登録において、定員を超える申込みがあったときは、法曹コース登録者および法曹志望コース登録者を優先するものとされています。

このほか、法曹コース登録者および法曹志望コース登録者向けに、裁判所の訪問などのイベントが実施されます。一部のイベントについては、一般学生の参加も認められますが、法曹コース登録者および法曹志望コース登録者が優先されます。

⑤ **法科大学院入試・特別選抜**

法科大学院入試

- ・一般選抜（従来から実施）
- ・特別選抜
 - ・2022年度入試（2021年度中実施）から法曹コース登録者を対象に実施
 - ・学部における成績を加味して選抜
 - ・2つの形態（名称は大学により異なる）
 - ・5年一貫教育型：受験資格を協定締結学部の学生に限定
 - ・開放型：協定締結学部以外の学生も受験可能

5
法科大学院入試における特別選抜について説明します。
法科大学院入試は、従来から一般選抜として、未修者コースおよび既修者コースの入試を行ってきました。特別選抜は、これに加えて、2022年度入学生が受験する入試、つまり2021年度中に実施する入試から始められるもので、学部における成績を考慮に入れて選抜が行われる点で、一般選抜と異なっています。

法曹コース登録者のうち、各法科大学院が定める受験資格を満たす者が受験できます。
特別選抜は、2つの形態に分かれます。法科大学院ごとに名称が異なりますが、1つは、東北大学法科大学院では5年一貫教育型特別選抜と呼んでいるもので、その法科大学院と協定を結んでいる学部の学生に受験資格が限られるものです。もう1つは、東北大学法科大学院では開放型と呼んでいるもので、協定を締結した学部に限らず、どの大学法学部の法曹コースであっても、その登録者に受験資格が与えられるものです。

⑥ **法科大学院入試・特別選抜**

東北大学法学部法曹コース登録者の受験資格

東北大学 法科大学院		他大学 法科大学院
○受験資格あり (論文式試験なし)	特別選抜 5年一貫教育型	×受験資格なし
○受験資格あり (論文式試験あり)	特別選抜 開放型	○受験資格あり (試験方法は 大学により異なる)
○受験資格あり	一般選抜 (既修者コース・ 未修者コース)	○受験資格あり

6
東北大学法学部の法曹コースに登録した学生は、東北大学法科大学院の実施する特別選抜については、5年一貫教育型、開放型のいずれについても受験資格をもちます。これに対して、東北大学以外の法科大学院については、どの大学院とも連携協定を締結していないため、特別選抜のうち5年一貫教育を受けられるものはありません。他大学の法科大学院の特別選抜を受験する際には、開放型にあたるものしか受けられません。このほか、

東北大・他大学、いずれの法科大学院についても、一般選抜入試を受験することはもちろん可能です。
なお、東北大学法科大学院では、5年一貫教育型特別選抜は、学部の成績を主たる合否判定の素材とし、論文式試験を実施しません。開放型特別選抜では、学部の成績に加え、論文式試験の成績で合否を判定します。他大学の法科大学院の開放型特別選抜の試験内容は、各大学の試験実施要項を参照してください。
また、特別選抜で合格をした場合、実際に入学が許可されるためには、法曹コースを修了することが必要になります。法曹コースの修了要件を満たさなかった場合には、合格が取り消されることになるので注意してください。

7

法曹コース修了要件

- 卒業要件（または早期卒業要件）を満たすこと
- 法曹コース必修科目（6法指定科目）
42単位を修得すること
 - *1年次配当科目もある。
 - **隔年開講科目は受講できるタイミングに注意が必要
- 法曹コース選択必修科目（実務演習）
6単位を修得すること
 - ***法曹コース登録者は実務演習の履修を優先的に認められる

・モデルカリキュラム等を参考に
計画的に受講を進めること

7
法曹コースを修了するためには、法学部卒業要件、または早期卒業要件を満たすことが前提です。その上で、法曹コース必修科目として指定された16科目・42単位をすべて修得し、法曹コース選択必修科目である実務演習を6単位以上修得することが必要です。

なお、法曹コース必修科目は、1年次に配当されている科目もあり、早い段階から、モデルカリキュラムなどを参考にして、計画的に受講を進める

ことが必要です。また、隔年で開講される科目もあるので、受講できるタイミングを確認することが必要です。さらに、法曹コース登録者は、実務演習の受講希望者が定員を超えるときに、優先的に履修を認められます。

8

法曹コースへの登録

- 2年生以上が対象
- 各学期の履修登録期間中に登録
- 登録は学務情報システムを通じて行う
- 登録希望者が多数の場合には
6法基幹科目の履修状況や成績等に基づき
選抜を行うことがある

・イベントなどの情報は
学務情報システム登録のアドレス宛に送信
登録者は定期的に確認を

8
法曹コースへの登録は、2年生以上を対象に行います。各学期初めに設けられた履修登録期間がコース登録期間になっており、この期間中に、学務情報システムを通じて登録してください。登録を希望する学生が多数にのぼった場合には、6法基幹科目の履修状況やその成績などに基づいて選抜を行うことがあります。

なお、法曹コース登録者には、コース登録者向けイベントの案内などを、学務情報システムに登録

されているメールアドレスに宛てて送信しますので、メールを定期的に確認し、見落とすことのないようにしてください。

9

1年生への情報提供

- 1年生で次年度（以降）に法曹コースへの登録を希望する者への情報提供のために
メーリングリストを開設する
- 登録方法は法曹コースWebサイトを参照
(URLは次のスライド)

9
また、法曹コースに登録することのできない1年生を対象に、法曹コース登録者向けイベントで一般学生も参加できるものについての情報や、来年度の法曹コース登録についての情報を提供するために、メーリングリストを開設しています。メーリングリストへの登録方法は、法曹コースWebサイトからのリンクを参照してください。

10

法曹コースWebサイト

- ・法曹コースWebサイトでは
次のような情報を提供
 - ・モデルカリキュラム
 - ・よくある質問
 - ・各学年ごとの留意点
 - ・1年生向け情報提供メーリングリストの
登録方法

<http://www.law.tohoku.ac.jp/edu3plus2course/>



10

法曹コース Web サイトでは、モデル・カリキュラムを提示しているほか、法曹コースについてのよくある質問、各学年ごとに留意するべき点などの情報を提供しています。画面に表示されている URL または QR コードを用いてアクセスしてください。

11

誤解しないでほしいこと

- ・法曹コースに登録しても、法科大学院への進学、あるいは早期卒業が義務付けられるわけではありません（逆にこれらのことが保証されるわけでもありません）。
- ・法曹コースに登録しなくても、法科大学院への進学、あるいは早期卒業ができなくなるわけではありません。

11

念のためにもう一言付け加えておきますが、法曹コースに登録しても、法科大学院への進学や早期卒業が義務付けられるわけではありません。逆に、法曹コースに登録することによって、法科大学院への進学や早期卒業が保証されるわけでもありません。

法曹コースの目的は、法曹を目指す学生に体系的な教育課程を提供するとともに、計画的な学習をうながすこと、そして、その中で特に成果を挙げ

た学生に、早期卒業や特別選抜という方法での法科大学院への進学の道を開くことです。学生の進路を早い段階で確定したり、制約したりするものではありません。

また、法曹コースに登録しなかったからといって、法科大学院への進学や早期卒業ができなくなるわけではありません。大学に入学した当初は法曹という進路に興味を持っていなかった学生が、大学で学ぶうちに法曹に興味を持ち始めることももちろん歓迎されることです。

12

不明のことがあれば

- ・法曹コースについて不明の点は
法学部教務係で尋ねること

*新型コロナ対応のため
窓口への来訪はできるだけ避け
メールで尋ねてください

法曹コース問い合わせ用メールアドレス：
housou-course@law.tohoku.ac.jp
学籍番号および氏名を本文中に書いてください

12

法曹コースについての説明は以上で終わります。何か不明のことがあれば、法学部教務係の窓口へ、気軽に問い合わせてください。